



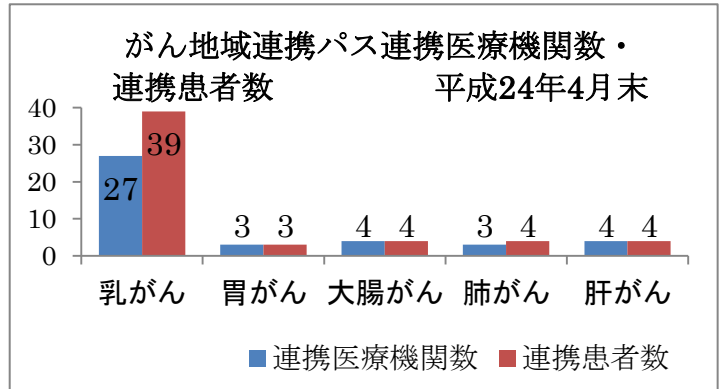
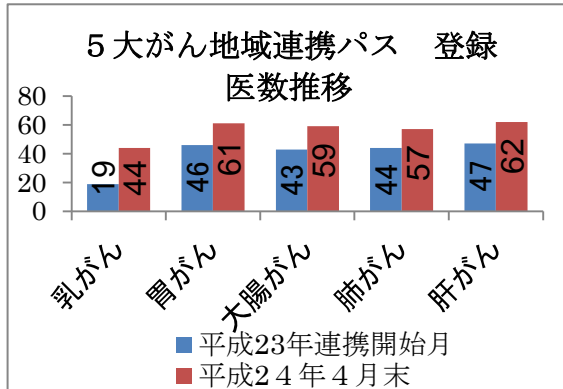
連携パスだより～がん地域連携パス編～ NO. 1



はや夏の気配が感じられるころとなりました。先生を初めスタッフの方々におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地域連携パスにつきましては、連携病医院の先生を初め、スタッフの皆様にご理解ご協力をいただいております。

今回は、導入より1年経過した「がん地域連携パス」の運用経過を報告させていただきます。



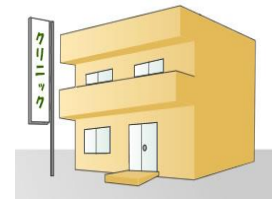
患者さんの声

- ・パスを持っていくのは心配だったけど、かかりつけ医から「コーディネーターから聞いているから大丈夫だよ」と言われて安心した。
- ・「私のカルテ」を持っていくのは面倒だ。
- ・今まで脂質が高いと言われたけれど、定期的な受診をしたことはなかった。これを機会に健康に気を付けてかかりつけの先生にいろいろ相談しようと思う



連携医の先生の声

- ・「たくさん書類があるから大変そうだと思っていたけど聞いたら簡単そうだね。」
- ・「実際に連携してみないとわからないことがわからない」
- ・「まあやってみるか、内科医だから登録まではしないけど」
- ・「断られるケースもあり「算定上あまりメリットないし・・・」
- ・「以前からがん患者を連携して診ることはできないかと考えていた。連携することはよいことだと思う」
- ・「連携したらがん患者さんをたくさん送ってくることはない？」
- ・「拠点病院受診時、その都度紹介状がいるの？」



など様々なご意見をいただきました。



連携パスの説明などに訪問もさせていただいております。
がん連携パス運用にあたり、運用方法など今後、検討が必要だと思っております。今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。

平成 24 年 6 月 吉日

連絡先:

松江赤十字病院 地域医療連携課

TEL:0852-32-7813

FAX:0852-27-9261